

## 「<資産運用コンサルティングのポイント Vol13～ レバレッジ型やインバース型、様々なETFが 人気になっている理由とは～>」



株式会社 ZUU の富田和成です。今回はレバレッジ型やインバース型の ETF の人気の理由について見て行きたいと思います。

### ■上昇トレンドの相場で非常に有効なレバレッジ型 ETF

特に、NEXT FUNDS 日経平均レバレッジ・インデックス連動型上場投信 <1570> が人気を集めています。日経平均レバレッジ・インデックス連動型上場投信は、日々の騰落率を日経平均株価の騰落率の2倍として計算された、日経平均レバレッジ・インデックスを対象指数とし、この対象指数に連動することを旨として運用されるファンドです。

つまり、日経平均レバレッジ・インデックスは、日経平均株価が10%上がれば20%上がり、日経平均株価が10%下がれば20%下がる動きをするよう計算されています。これに連動する日経平均レバレッジ・インデックス連動型上場投信も、日々の値動きが日経平均株価の2倍になります。このようなETFはレバレッジ型ETFと呼ばれ、株価が上昇するトレンドでは非常に有効な投資対象です。

### ■ヘッジ手段としても利用可能なインバース型 ETF

また、日経平均株価などの指標とは逆の値動きを目指して運用されるファンドもあります。これらは、インバース型ETFと呼ばれ、例えば、日経平均株価が10%上がったなら10%下がり、日経平均株価が10%下がったなら10%下がる動きをするよう計算されており、株価が下落するトレンドで有効となります。

また、現物株式等の価格下落リスクのヘッジ手段としては、TOPIXや日経平均株価に連動するETFを信用売りすることや、日経225先物を売ることが考えられます。しかし、信用売りや先物売りには別口座が必要で、証拠金を差し出すことが求められ、手間がかかることとなります。インバース型ETFであれば、ETFを買うだけでヘッジ効果が得られるため、活用しやすいのではないのでしょうか。

### ■長期投資の場合は、株価指数等とのかい離も

ここまで、レバレッジ型、インバース型ETFの魅力を述べてきましたが、注意しなければならない点もあります。対象となる指数が上昇や下落して投資時点の水準に戻ったとしても、複利効果によってその価格からかい離してしまうこととなります。先ほどの、日経平均レバレッジ・インデックス連動型上場投信を例にする

と、日々の騰落率の2倍となるように算出されているため、前営業日比で見た時の変動率は2倍になるが、2営業日以上離れた2時点間の騰落率は複利効果によって2倍にならないということです。投資時点で日経平均株価が10,000円で、数年後に、15,000円まで上昇した場合、単純に2倍の10,000円分のリターンが期待できる訳ではないことを覚えておくべきでしょう。

## ■対象指標は多彩

このようなレバレッジ型、インバース型ETFは、2012年4月5日に初めてTOPIXブル2倍上場投信 <1568> と TOPIX ベア上場投信 <1569> が上場し、現在では、16銘柄が東京証券取引所に上場しています。対象となる指標も、日経平均株価やTOPIXに加え、ハンセン中国企業株(中国H株ブル2倍上場投信 <1572>、中国H株ベア上場投信 <1573>)もあり、ETN(「Exchange Traded Note」の略で、「上場投資証券」または「指標連動証券」と呼ばれる上場銘柄)は、ETFと同様に、価格が株価指数や商品価格等の指標に連動するが、発行体の信用力をもとに、価格が特定の指標に連動することを保証する債券であるため、証券に対する裏付資産を持たないも含めれば、ハンセン指数(NEXT NOTES 香港ハンセン・ダブル・ブル ETN <2031>、NEXT NOTES 香港ハンセン・ベア ETN <2032>、日経・東商取金(NEXT NOTES 日経・TOCOM 金ダブル・ブル ETN <2036>、NEXT NOTES 日経・TOCOM 金ベア ETN <2037>)、日経・東商取原油(NEXT NOTES 日経・TOCOM 原油ダブル・ブル ETN <2038>、NEXT NOTES 日経・TOCOM 原油ベア ETN <2039>)など多彩です。

長期投資の場合、指数とかい離するため、短期的な売買を中心に有効活用するといいかもかもしれません。

>>更に資産運用に関する情報を見られたい方はこちら。

<日税FPフォーラム>

税理士向け・新サービス提供開始。今後益々ニーズが増えると予想される税理士・会計事務所の資産運用コンサルティングを総合的にバックアップする《日税FPフォーラム》の提供を開始しました。詳しくは下記ページをご参照ください。

<http://www.nichizei.com/fpforum.html>

<著者プロフィール>

富田和成 株式会社ZUU 代表取締役社長兼CEO

[http://zuu.co.jp/company/ceo\\_message](http://zuu.co.jp/company/ceo_message)

大学在学中にソーシャルマーケティングにて起業。2006年に一橋大学を卒業後、野村証券株式会社に入社。支店営業にて同年代のトップセールスや会社史上最年少記録を樹立し、最年少で本社の超富裕層向けプライベートバンク部門に異動。その後シンガポールへの駐在、ビジネススクール(金融商品の組成、マーケット・企業分析、ポートフォリオ理論、オルタナティブ投資などを学ぶ)への留学やタイへの駐在などを経て、本店ウェルスマネジメント部で金融資産10億円以上の企業オーナー等への事業承継や資産運用・管理などのコンサルティングを担当。2013年3月に野村証券を退職し、「金融×IT」で時価総額100兆円を超える世界一の企業を創るべく、株式会社ZUUを設立。設立から約1年半で10種類の金融・経済関連メディアを立ち上げ、配信先含めて月間1,000万アクセスを超える日本最大級の金融・経済サイトへと成長させる。月間2万人を超える資産アドバイザーが訪問する専門サイトZUU Advisors Supportを運営するなど専門家向けのサービスも行っている。

参考 : ZUU Advisors-Support : <http://support.zuuadvisors.com/>  
: ZUU online : <http://zuuonline.com/>

◇今後のメルマガをより良い物とするために下記のページより皆様のお声をお聞かせ下さい。

<http://www.nichizei.com/fp-enquete.html>

#### メルマガ執筆者募集のお知らせ

税理士FP 実務研究会事務局では、FP 実務に関する様々なテーマでメルマガの執筆をしていただける方を募集中です。分野・テーマ等は自由です。最近の相談事例や得意分野など、ぜひ寄稿ください。執筆を希望される方は、税理士FP 実務研究会事務局【(株)日税ビジネスサービス 総合企画部】までご連絡ください。TEL 03-3340-4488